

研究分野		授業科目名		科目責任者
形態系分野		放射線腫瘍学研究		勝井 邦彰
開講年次	共通／専攻／選択		単位数	
1～4	必須専攻		20	
目的				
(1) 悪性腫瘍の放射線治療を理解するため、放射線生物学の基礎を修得する。 (2) 新しい放射線治療の方法を開発し臨床応用するために、最先端の放射線腫瘍学の知識を修得する。 (3) 卓越した医学研究を行うために、科学的手法に基づく研究の進め方を修得する。				
授業到達目標				
(1) 放射線生物学と放射線腫瘍学の関連を説明できる。 (2) 放射線腫瘍学における専門的知識を述べることができ、どのような臨床応用が可能かを考えることができる。 (3) 放射線腫瘍学に関する研究計画を立案し、遂行できる。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
隔週	火	18:00 - 20:00	林 貴史	基礎研究と最新放射線治療との関連性について
隔週	水	13:00 - 15:00	勝井 邦彰	放射線治療の胸部や泌尿器領域疾患に対する最新の知見について
隔週	木	14:30 - 16:00	釋舎 竜司	放射線治療の有害事象や血液疾患に対する最新の知見について
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに研究内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
中間発表の抄録を作成する際に、指導・助言を行う。				
教科書				
ISBN-978-4-05-520049-3, がん・放射線療法 改訂第8版, 大西 洋, 唐澤 久美子, 西尾 禎治, 石川 仁編著, Gakken, 2023				
参考書				
ISBN-9784263731925, ゴイテン放射線腫瘍学：医学物理士の視点, Michael Goitein 原著；森慎一郎, 綱島義一, 遠藤真広訳, 医歯薬出版, 2019				
準備学習 (予習・復習等)				
(1) 学習・研究前に教科書・参考書等を読み、明らかにしたい疑問点を見つけておく。 (2) 毎週、学習内容・研究内容を記録する。				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
卓越した研究成果をあげ、放射線腫瘍学の深い学識を獲得する。				
注意事項・メッセージ				
放射線腫瘍学の研究に熱心に取り組んでください。 研究成果が実際の臨床に広く活用されることが望まれます。				